

# 学生のヘルスマネジメントとマナー向上への取組

飯田 紀彦

(関西大学保健管理センター所長)

## 一 関西大学保健管理センター

関西大学保健管理センターは、将来、日本の指導者的役割を担うべき学生の健康の保持増進を目的とした学内共同の学長直轄の厚生施設であります。

### (一) 学生の健康管理

当センターの当初の設置目的は、学生の結核の早期発見・早期治療、栄養障害の改善、自殺の予防等でしたが、当センターを取り巻く状況は次第に変化し、近年では、肥満等の生活習慣病や活発な国際交流等による新興感染症に関する

啓発も行っています。今年度の麻疹(はしか)の流行は耳に新しいところであります。

また、性感染症、HIV感染症、さらには若者に急増する薬物乱用、アルコールとタバコの問題、引きこもり、摂食障害、リストカットやセクシュアル・ハラスメント等、今後の大学の保健管理のありかたに様々な新たな問題が投げかけられています。

本学の休退学等の統計結果を見ると、病気による休学・退学は全体の休退学者の一・四％程度となっています。

また、千里山キャンパスでは、保険診療を行っています。平成一八年度の学生利用者数は延べ六五八名で、呼吸

器系(感冒性)疾患、消化器系疾患が多く見られます。応急処置は、千里山・高槻両キャンパスで対応しており、平成一八年度に対応した延学生数一一五七名中、外科系が四割、内科系が五割となっています。

毎年四月に実施する健康診断の受診状況は、平成一八年度は全体の八割弱で、その内、治療を要する者は、胸部疾患要医療五名、腎臓疾患では一七名、心臓疾患要観察一六五名という結果で、必要に応じて第二次検査として血圧、心電図、貧血・肝機能・脂質・腎機能、喀痰等の検査を行っています。

また、体育会系学生(一年次生)には、全員を対象に心電図検査を実施し、必要に応じて精密検査(自転車エルゴメータによる負荷心電図検査や心臓超音波検査)を行っています。

### (二) 健康情報の発信

健康情報に関しては、ホームページや大学からの学生生活に関する情報発信の窓口と位置づけているインフォメーションシステム等のWebによる情報発信と、学生センターが毎年発行している冊子「かんだいLIFE」があります。Web情報は、毎年実施する健康診断案内の他、感染症

(インフルエンザやノロウイルス・SARS等)の流行の兆しがあれば、注意を呼びかけ、対処方法を発信しています。今年度は、五月から、本学学生の麻疹の罹患状況とその対応、抗体検査の実施案内等についての情報を発信しました。

また、健康指導・啓発行事の実施についても、これらのシステムを利用して広報しています。

### (三) 健康指導・啓発行事

健康指導については、定期健康診断の結果を踏まえての個人面談と、多数の学生を対象にするキャンペーンに大別することができます。

健康診断時には問診票に基づいて面談を行い、疾病治療や管理中または既往歴のある学生には、現在の状況・主治医の指示等を確認しつつ、充実した学生生活を送れるように支援しています。

また、平成一八年度に開催した、学生を対象とした健康指導・啓発キャンペーンは、次のとおりです。

- ① 定期健康診断結果に基づく精密検査及び個人指導(年間)
- ② アルコールパッチテスト(七月)



2001年度（創刊）～2007年度  
かんだいLIFE

内容は、①自動車・モーターバイク通学の禁止、②カルト宗教団体や悪徳商法による被害の防止、③インターネット利用上のマナーの向上をはじめ、フィジカル面では、①海外旅行時の健康知識、②アルコールハラスメントやイッキ飲み防止等を目的とした飲酒時のマナー向上、③受動喫煙を引き

起こす等のタバコの影響、④性感染症の身体への影響、予防対策等を掲載しています。大学生のマナー・モラルが低下したとよく言われています。当センターが、本学学生の生活実態を的確に把握するために昭和三〇年度から実施している「学生生活実態調査報告書」においても、「授業中の私語、携帯電話」をはじめ、「教室・食堂でのマナー」、「食事のマナー」、「喫煙マナー」等が悪いという結果が出ています。当センターでは、これらのマナー違反等に対する新たな取組として、平成一九年度から、「快適なキャンパスライフをおくるために」をテーマとして、四月から毎月啓発キャンペーンを実施しています。また、入学式開催時に、新入生及び父母を対象として、啓発講演会「関大でのキャンパスライフ」を実施したのをはじめとして、カルト宗教対策、インターネットマナー、アルコール対策、薬物追放等のキャンペーンを行い、その後は、一月に悪徳商法追放キャンペーン、一二月に防犯キャンペーンと続きます。

③「たばこの害について知ろう」キャンペーン（一月）なお、平成一九年度は、前記に加えて「歯磨き講習（九月）」「血管年齢測定（一〇月）」を実施しました。一二月には「体脂肪測定」も実施する予定です。アルコールパッチテストは昨年は約八〇〇人、今年は約九〇〇人の学生が受検しました。コンパ等で飲酒の機会が多い学生が、アルコールに対する自分の体質を確認すると同時にアルコールの許容量には個人差があることを知ると、「アルコールハラスメント」の根絶につながることを願っています。また、生活習慣病の情報が日常化している現在、血管老化度（動脈硬化度）が簡単に測れる血管年齢測定は、一五六〇名の学生が受検しました。当センターが実施する行事への参加が、自己の健康への関心を高める機会になればと考えています。



禁煙キャンペーンでニコチン度  
チェックを受ける学生達

関西大学学生センターは、学生相談、課外活動、福利厚生、奨学金、ボランティア活動等の学生支援業務を行っています。また、学生が快適で、安心安全なキャンパスライフを送ることができるように学生生活に関する様々なセーフティネットの構築に取り組んでいます。

健康指導・疾病管理と並んで、環境衛生に関することも当センターの重要な任務です。近年は衛生面に加えて、安全管理に係る環境改善も担っています。AED（自動体外式除細動器）の設置については、当センターが全学的な配備体制を検討して、平成一九年度は新たに一六台を購入し、学内の配備台数は計二一〇台になりました。今後も、危機管理体制の充実の一環として、経年的に増数したいと考えています。また、車椅子についても、怪我等で移動可能な事故者に対して迅速に対応できるように、新たに九台を購入し、学内に一五台配備しています。

## 二 関西大学学生センター

関西大学学生センターは、学生相談、課外活動、福利厚生、奨学金、ボランティア活動等の学生支援業務を行っています。また、学生が快適で、安心安全なキャンパスライフを送ることができるように学生生活に関する様々なセーフティネットの構築に取り組んでいます。

平成19年度マナーキャンペーン

4月	啓発講演会「関大でのキャンパスライフ」
4月	カルト宗教対策キャンペーン
5月	防犯キャンペーン
6月	インターネットマナーキャンペーン
6月	エイズキャンペーン
7月	アルコール対策キャンペーン
9月	薬物追放キャンペーン
10月	禁煙（喫煙マナー）キャンペーン
11月	悪徳商法追放キャンペーン
12月	防犯キャンペーン（学生寮対象）

阪府消費生活センターと連携するとともに、その運営には関西大学ボランティアセンターの学生スタッフが、「学生の目線」から積極的に参加してくれています。

最近、大学生が被害者となる事故・事件ばかりではなく、加害者となる事故・事件が多数発生し、マスコミに報道されるが多くなってきました。

社会のグローバル化やIT技術の急速な進歩によって、学生の意識と生活実態は多様化し、大きく変貌してきています。

入学から卒業までの四年間にわたり組織的、系統的で総合的な学生支援を行い、健康管理意識の向上に加えて、学生の倫理観を養い、人間力を高めることにより、個性豊かで、人間性にあふれた社会人を育成していくことが、これからの正課外教育を担う教職員に課せられた課題であると思われまます。